

3年

## 薬物乱用防止教室

令和2年2月25日(火)

2校時 体育館

薬物乱用防止指導員を講師に迎え、ご講演をいただきました。DVDの視聴や薬物サンプルの展示など、たくさんの資料や講師のお話を通して、改めて薬物の乱用が心身に与える影響について考える時間となりました。

(神奈川県薬物乱用対策推進本部後援)

### 生徒感想

- 薬物が、おしゃれで薬物に見えないところにびっくりしました。いつ薬物に誘惑されるかわからないので、いつでもはっきりと断る力を継続して持ち続けたいです。
- 「バスソルト」や「アロマ」として売られている危険度ドラッグがあるということがとても驚きました。将来、そのような間違った情報に惑わされないようにしたいと思います。
- 薬物から自分の身や周りの人を守る方法について、今まで以上に理解を深めることができた。ふだん服用しているような薬でも、使用方法を誤れば乱用につながってしまうので、薬とのかかわり方を改めて考え直すことが大切だと感じた。薬物依存の人は、どのようにして普通の生活へと戻していくのか、もっと詳しく知りたい。
- 保健の授業で聞いていた「MDMA」などの薬物を実際に写真で見ることで、より理解が深まった。
- 女子高生の実話の話を読み、授業が1割も頭に入ってこない状態が6か月以上も続き、死んだほうがましだと感じたという話を聞き、強く衝撃を受けた。また、一度破壊された脳の器官は二度と再生しないと知り、より一層怖さが増した。人生でうまくいかないことがあり、何もかも投げ出したくなった時の心の弱みに付け込んで、薬物を始めてしまうというのを聞いたことがあるので、絶対に断るという強い意志を持つだけでなく、そのような状況・環境を作らないことも、大切にしていきたい。
- 自分で吸うことはないけれど、知らないうちに誰かに盛られていたら怖いなと思いました。絶対に薬物に関わりたくないです。
- 薬は、使い方次第で毒にもなる。薬と毒は表裏一体とよく言われるが、その通りだと、今日改めて実感した。危険ドラッグの例として、「バスソルト」「フレグランス」など、普段何気なく聞いても警戒心がないと思うから、少し怖いと思う。
- 薬物の危険性がよくわかり、本当に「ダメ。ゼッタイ。」だなと思いました。もし、友達が誘惑に負けそうだったら止めてあげたいです。